

西暦 2018 年 6 月 14 日作成

研究課題名	病院併設型保育所に通所する乳幼児の感染症を予防するための衛生的介入方法の考察
研究の対象	みなみ保育園に通所する園児と勤務する保育士
研究目的 ・方法	<p>目的： 病院併設型保育所に通所する乳幼児の接触及び飛沫の伝播拡散リスクを低減させることを目指した衛生的介入を実施し、その効果を考察する。</p> <p>方法： 衛生的介入を実施する前後に調査を行い、園児の感染症発生率や感染による欠席率の変化、園児と保育士の手指衛生の実施状況の変化から介入効果を考察する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 介入前調査（感染率・欠席率・手指衛生） 2) 衛生的介入（教育、園児の手指衛生行動強化、環境清掃の強化、手指衛生の注意喚起） 3) 介入後調査（感染率、感染症による欠席率、手指衛生）
研究期間	西暦 2018 年 10 月 1 日 ～ 西暦 2019 年 10 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<p>研究開始時点で退園した園児の、過去の保育園出欠席状況に関する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなみ保育園が横浜南共済病院感染制御チームに毎日報告している「出欠席報告用紙」から、2017 年 12 月～2018 年 3 月の上気道感染症と消化器感染症の罹患率と保育園の欠席割合を算出します。 ・上記のデータには、個人情報は一切含まれていません。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも園児や保護者、保育士の方に不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>横浜市立大学医学研究科 看護学専攻 感染看護学 学生 土田陽子 eメール t176616g@yokohama-cu.ac.jp</p>	